

令和5年「地盤工学会誌」優秀賞受賞者の決定

令和5年「地盤工学会誌」優秀賞受賞者が、令和6年2月8日の表彰委員会において下記のとおり決定いたしました。

【「地盤工学会誌」年間最優秀賞】

受賞業績名／業績発表文献	受賞者名
地盤工学における模型実験 第4回 模型実験における測定技術／2023年12月号掲載（講座）	西岡 英俊（中央大学） 上野 勝利（徳島大学）
<p>●授賞理由：本記事は、模型実験から正しく有用な情報を得るために重要な測定技術について、ひずみ、荷重、土圧、間隙水圧、加速度といった基本的な計測項目から、画像解析に至るまで、その原理に基づいた特徴と計測データの扱い方、留意点について詳細に解説されたもので、本来であれば実際に機器に触れながら、試行錯誤の中で培われるノウハウが惜しみなく盛り込まれています。卒業論文等ではじめて模型実験に取り組む学生や、実務者・研究者にとっても役に立つ道しるべとなるような内容となっており、多くの読者に支持されました。</p>	

【「地盤工学会誌」優秀賞】

受賞業績名／業績発表文献	受賞者名
地盤工学における模型実験 第3回 模型地盤作製技術／2023年11月号掲載（講座）	平川 大貴（中央大学） 谷本 俊輔（土木研究所） 渡邊 健治（東京大学） 高橋 英紀（港湾空港技術研究所） 西岡 英俊（中央大学） 伊藤 和也（東京都市大学）
<p>●授賞理由：本記事は、模型実験の実施に際して構造物や地盤、あるいは境界条件を精緻にモデル化し、検討対象である現象を再現するうえでの基礎技術である、模型地盤の作製技術について解説したものです。材料の選定から材料に応じた密度調整や飽和化といった模型作製方法、そのために用いられる器具や設備のほか、アルミ棒積層体や透明土といった模型地盤内部挙動の観察を容易にするための実験技術まで、網羅的に紹介されております。模型実験の一連の手順を学ぶうえでも有用な資料となっており、多くの読者に支持されました。</p>	
直轄国道地すべり災害における建設DXを活用した効率的・効果的な災害復旧対応事例／2023年8月号掲載（報告）	高津 則義 （国土交通省 中国地方整備局松江国道事務所） 糸原 浩（基礎地盤コンサルタンツ（株））
<p>●授賞理由：本記事は、大規模地すべり災害により被災した国道・鉄道において、調査や地すべり解析、復旧対策工の設計・施工まで建設DXをフル活用し迅速かつ効果的に実施した事例となります。人手不足等の背景から急速に普及されつつあるDX技術に関して、UAVにより取得したLPデータによる法面の差分解析、ICT技術を用いた法面の応急復旧、BIM/CIMと地形データの組合せによる地すべり対策工提案など、時系列に沿って図や写真を用いて丁寧に分かりやすく解説されております。今後、気候変動の影響等による災害が増加すると予想されますが、早期復旧が求められる災害復旧実務において非常に参考となる事例ということで、多くの読者に支持されました。</p>	

（注：敬称略，受賞者の所属は掲載当時）